

76 コウノトリ

(コウノトリ目)

Ciconia boyciana

兵庫県ランク: A

繁殖個体群:A 越冬個体群:B 通過個体群:B

◎国内希少野生動植物種 ◎特別天然記念物

環境省ランク: CR

種の概要

江戸時代までは日本各地に生息し繁殖していた。明治以降減少し、最後に残った兵庫県但馬地方、福井県若狭地方でも1971年に絶滅した。しかし、現在でも秋冬期に大陸から渡来する個体が稀に見られる。多くは春に大陸に戻るが、周年滞在することもある。水田や河川、湖沼、山林を含む田園環境に飛来・生息し、魚類、両生類、甲殻類などを好んで採食する。2005年から、兵庫県では大陸系統の増殖個体による野生復帰を実施し、野外個体群が成立しつつある。

国内分布

北海道、礼文島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、屋久島、奄美諸島、琉球諸島、

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

◎放鳥個体確認市町を列記 下線表記は野生個体確認市町

★神戸市、姫路市、明石市、★西宮市、★洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、★養父市、★丹波市、★南あわじ市、★朝来市、★淡路市、宍粟市、加東市、★たつの市、猪名川町、多可町、★神河町、上郡町、佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性(特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○			○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県のコウノトリ野生復帰事業により再導入された個体が、但馬地域および京都府京丹後市を中心に周年生息し繁殖している。また、大陸からの飛来個体も極めて稀に記録されることがある。

保護上の留意点

再導入個体および大陸からの飛来個体の定着を図るためには、その主な生息地である田園生態系(田圃、水路、河川、草地)の保全・再生の推進が必要。



写真提供: コウノトリの郷公園

(性別: 不明)



写真提供: コウノトリの郷公園

(性別: 不明)



写真提供: コウノトリの郷公園

(性別: 不明)



写真提供: 梅津節雄 (性別: 不明)